

平成25年（2013年）度事業報告

1. 事業の状況

(1) 男子学生の収容

本年度は4月に2名（うち1名は中国人留学生）と5月に1名中国人留学生の新寮生が入寮し、1名が病気による休学のため退寮し、5月以降、寮生は合計8名。内訳は、東京大学、東京農業大学、日本大学、ルーテル学院大学、政策大学院大学、一橋大学など、東京都下の大学生、大学院生です。この中には、3名の中国人留学生が含まれており、国際色豊かで有意義な共同生活を送ることができました。

(2) 聖書研究会の開催

寮長の森山浩二が聖書研究会を主宰し、聖書講義は寮長の森山浩二が原則として2週間に1度の割合で担当し、その他、理事長の千葉眞氏（後期、学寮先輩の中村陸郎氏、島創平氏、木村護郎氏（後期）や寮長の友人の須藤誠氏、田中健三氏、大津昌源氏、新堀邦司氏などの協力を得ました。夏、冬、春の大学の休暇期を除いて、毎週日曜日の朝9時より1時間半開催しました。出席者は本寮の学生と寮長夫妻、寮の先輩、友人たちです。

(3) 感謝祭（寮祭）の開催

本年も、4月29日（金）に84周年の春風学寮感謝祭（寮祭）を、70名の参加を得て行いました。今回は卒寮生の遠藤亘先輩（富士総研）「信仰と無信仰の教会」と秀村研二先輩（明星大学教授）「私が見た北朝鮮」の講演を伺いました。

(4) クリスマス講演会

例年通り、下記のようなプログラムで開催いたしました。

(月日)	平成24年12月14日（土）午後6時—9時半
(会場)	春風学寮
(クリスマス講話)	「人生の選択」諏訪基
(参加者)	来賓・学寮先輩・寮生合わせて40名
(内容)	クリスマス礼拝、夕食会、演奏、ゲーム、プレゼント交換など

(5) 留学生の支援

中国からの留学生3名を奨学援助しました。

(6) 読書会の開催

本年度は2回、新寮生を対象に、内村鑑三『後世への最大遺物』（岩波文庫）「後世への最大遺物」と、寮生全員と「デンマーク国の話」の読書会を行った。

(7) 講演会

7月4日(木)夜、村井誠人氏(早稲田大学文学学院教授)に『デンマーク国の話をめぐって—我が国の海外事情の受容とは如何に—』と題して講演をしてもらう。寮生と外部の友人なども参加した。又、11月30日(土)の午後、風間文子氏(元・恵泉女学園中学・高校校長)に「映画『終戦のエンペラー』の時代」と題して、講演をしてもらう。この時も、外部の方々にも来てもらい、共に聴く。

(8) 寮生の教育的活動への援助

春と夏の中高校生聖書講座のサブ・スタッフとして参加した寮生の参加費補助、「内村鑑三キリスト教講演会」の手伝いと参加をした寮生の交通費などの補助を行った。

(9) 11月23日(土)「勤労感謝の日」の祝日、調布市深大寺に、寮長夫妻と有志の寮生で、一日遠足を行う。

(10) 学寮ホールの使用について

毎月第4土曜日の午後、寮長主催の「現代社会学習会」を外部の方々も含め、寮生と共に行う。寮の大先輩であり、当学寮理事の中村陸郎氏が代表をつとめる多摩家庭集会を年3回、『内村鑑三研究会』編集会議を年1回、学寮ホールで行いました。

2. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

(平成25年度末現在役員等)

役職名	氏名	就任年月日	担当	現職
評議員	浅野勝弘	平24.4.1		浅野塾理事長
評議員	春日久紀	〃		前(株)メタルワン鋼管部
評議員	木村護郎	〃		上智大学準教授
評議員	谷 博行	〃		自由学園講師
評議員	増田明彦	〃		増田ビル 国際基督教大学
理事	諏訪 基	平24.4.21	元国立障害者リハビリセンター研究所長	
理事	千葉 眞	〃	代表理事	国際基督教大学教授
理事	中村陸郎	〃		斉藤病院副院長
理事	眞方忠道	〃		神戸大学名誉教授
理事	増田信彦	〃		元大蔵省勤務
理事	本川達雄	〃		東京工業大学教授

理事
監事

森山浩二
殿木 輝

〃
平 2 4 . 4 . 1

寮長

元恵泉女学園中・高校教諭
殿木会計事務所・社長

※手当はどの役員もなし